

四街道 こども記者 クラブ通信

〈東松島市取材 特別号〉

東松島市取材 特別号について

7月24・25日、私たちこども記者は、東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県東松島市に取材に行きました。私たちは普通の生活に戻っていますが、東松島市はどうなのが……。様々な場所を見て学び感じたことを、子どもだから気付けることを中心に、本にまとめています。ここではその一部をご紹介します。



06

平成26年10月1日発行
四街道こども記者クラブ
www.kodomokisha.jp



市長議員の話を聞いて

阿部秀保東松島市長の話
1日でも早い復興を

津波の恐怖から、他に引っ越す人が出てきて東松島の人口は減っているという。しかし、今では防波堤がつくられるなど様々な対策がされている。もっとぎやかで活発になってほしいから、みんなが「戻ってきたくなる魅力ある町」にしたいと阿部市長は言う。だから1日でも早い復興を目指しているそうだ。

私が見たこと

市議会議員兼消防団の熊谷昌崇さんの話



熊谷さんは、消防団のポンプ車に乗り、市民に避難を呼びかけていた。その途中に、真っ黒でくさい津波に襲われた。大きなポンプ車も流され、下から迫ってくる水に恐怖を感じた。「自然は人間の想像を超える。思い込みで行動してはいけない」それは3・11を見た熊谷さんにしか言えない言葉だった。

東松島市のキャラクター
イートくん／イーナちゃん



市役所での取材中に、東松島市のキャラクター、イートくんとイーナちゃんが来てくださいました！イートくんの名前は、東松島市の「東」(イースト)と「心」(ハート)を合わせたもので、耳のハートは市の花である桜の花びらをお表しています。市内のお店やお祭りで東松島市を元気にする活動を続けています。



○皆に笑顔を届ける○ おのくん



みさき記者

特徴的な鼻にまるい目、体の左側にはおのマークがかわいらしい手作りの「おのくん」。一針一針ぬうのがめんどくさいですが、先の見えない状況の中でも「めんどうしえ」と言いながらも新しい未来を自分たちの手で築いていこうという思いが込められています。

四街道と東松島 ～四街道市民へのメッセージ～

震災当時から交流のある東松島市の方々は、僕たちを四街道市代表として、心温かく迎えてくれました。大変な思いをしたのに、笑顔で接していただき、四街道市の支援に対してとても感謝してくれました。被災地の復興はまだこれからです。
頑張っている人たちがいることを忘れないで下さい。



かいり記者



四街道こども記者クラブからのお知らせ

2014年11月22日(土)に四街道市文化センターで開催される「ちばユニバーサル農業フェスタ 2014」で、こども記者クラブの活動報告会をします。詳細はこども記者クラブのホームページ、facebookページなどで随時お知らせします。

四街道こども記者クラブ

住所：284-0001 千葉県四街道市大日 396(文化センター1階)
電話：043-304-7065(四街道市みんなで地域づくりセンター 担当：中川)
ホームページ：<http://www.kodomokisha.jp/>
メール：info@kodomokisha.jp
Facebook：<http://www.facebook.com/kodomokisha>
協力：四街道市政策推進課、四街道市みんなで地域づくりセンター

東松島の施設



メガソーラー

東松島市が災害危険区域に指定された土地をどうしようかと考えていたときに、復興のシンボルとしてメガソーラーを作りたいという会社があり、実現したそうです。



まこと記者

ブルーインパルス
松島基地には有名なブルーインパルスというアクロバット飛行チームがあります。震災のとき、ブルーインパルスは福岡市上空を飛行中で難をのがれましたが、松島基地は被害を受けました。



まこと記者

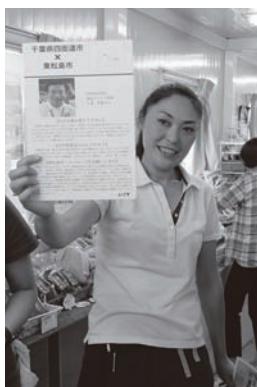
人の集まる飲食店 あごら

あごらは、矢本駅から歩いてすぐの飲食店です。被災したとき、海水が腰まで入ってきて、魚・灯油・重油のにおいが充満していたそうです。店の方は、いち早く人のために何かをやりたいと、昼だけの限定メニューを提供したり、警察官や避難所にいる人にお弁当を届けたそうです。



ゆいと記者

特産品でまちを元気に!
ちばこども記者クラブ



みくる記者

まちんぐでは、東松島のいろいろな特産品を売っていますが、実は四街道の落花生も置いています。支援してくれたまちの特産品を、恩返しとして置いているのです。少しでも多くの人に特産品を知つてもらうためにオープンしたこのお店。県を超えたつながりと、人々の思いが詰まっています。